

地球温暖化対策実施状況報告書

2020年 9月 11日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都港区三田3-13-16三田43MTビル14F
氏名 株式会社ティップネス
代表取締役社長 酒巻 和也

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社ティップネス 酒巻 和也				
事業者の主たる 事業所の所在地	〒108-0073 東京都港区三田3-13-16三田43MTビル14F				
主たる事業の業種	大分類	N 生活関連サービス業、娯楽業			
	中分類	80 娯楽業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	1,417	kl	自動車の台数	台

2 計画期間及び実施年度

計画期間	2017	年度～	2019	年度	実施年度	2019	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

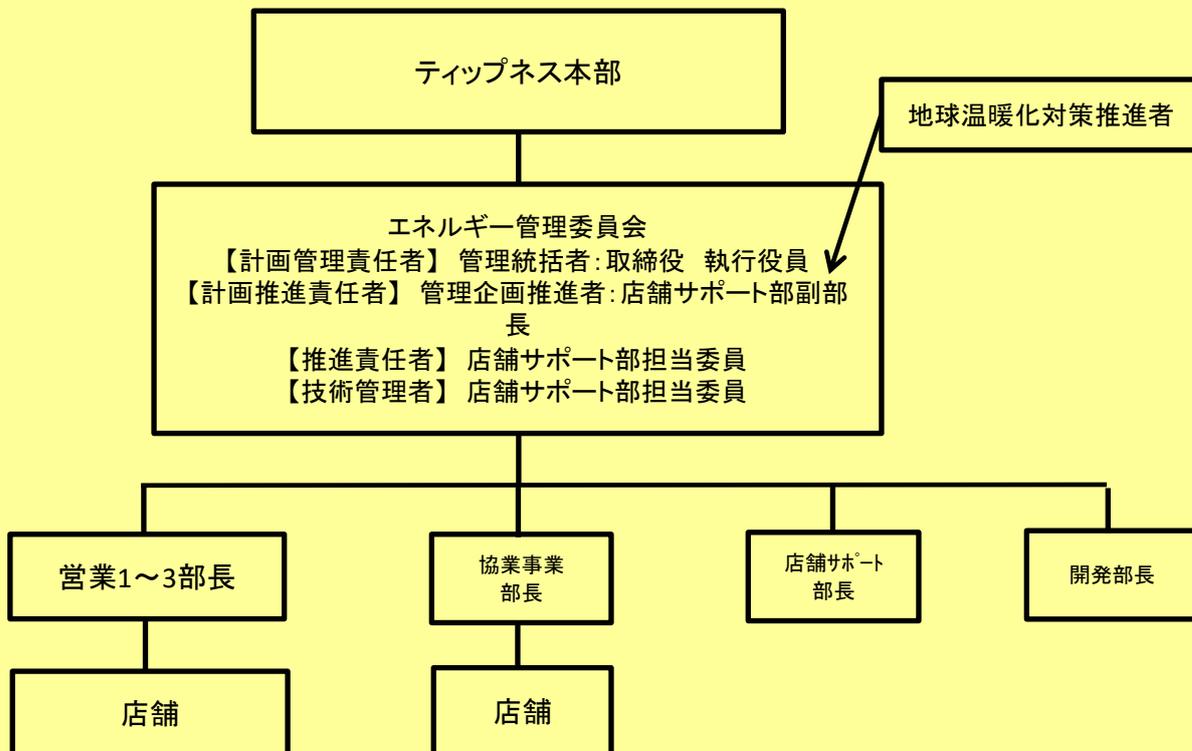
3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針] 地球温暖化対策推進における基本方針として、省エネ法対応と連動して全社的にCO2削減のためのエネルギー削減計画を推進し、CO2の排出量および原単位について、対前年度比で年1%の削減目標を掲げる。</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討] ①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 空調設備および給湯用真空式温水ヒーター、照明設備の更新。</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 エネルギー使用割合が多い為</p> <p>③設備更新スケジュール 2020年度までに実施予定</p>

4 推進体制

従来からの「省エネ推進責任者会議」を改組し、「エネルギー管理委員会」を平成22年12月に新たに発足し、エネルギー管理統括者として選任の取締役執行役員（本条例における計画管理責任者）を委員長、エネルギー管理企画推進者の店舗サポート部副部長（本条例における計画推進責任者）を地球温暖化対策推進者とし、関連部署から1名の部員を委員としている。

省エネルギーの推進とCO2排出量の削減に関して、全社の組織を見渡した中長期基本計画の作成と、そのローリングプランとしての年度計画の作成、及び毎四半期毎の年度計画の達成状況のチェックを行っている。また、平成23年より、全社的に固定エネルギー削減計画をスタートさせ、店舗ごとのエネルギー管理システム（デマンド監視装置）を順次導入し、定期的に全社教育を行い、計画的に削減目標を定めている。



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	株式会社ティップネス 店舗サポート部
	所在地	東京都港区三田3-13-16三田43MTビル14F
	閲覧可能時間	AM10:00～PM5:00（土日・祝日を除く）
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2016年度)	基準排出量	3,428	t-CO ₂			基準原単位	168.12	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	3,428	t-CO ₂			目標原単位	163.08	t-CO ₂ / 千m ²
目標年度 (2019年度)	目標排出量	3,325	t-CO ₂	削減率	3.0 %	削減率	3.0 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>地球温暖化対策推進における基本方針として、省エネ法対応と連動して全社的にCO₂削減のためのエネルギー削減計画を推進し、CO₂の排出量および原単位について、対前年度比で年1%の削減目標を掲げる。</p> <p>【施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明の間引き・消灯徹底および熱源設備の適正な運転台数、運転時間および設定温度の管理における運用改善による省エネ・節電行動を実施する。 ・「エネルギー管理委員会」により毎月の年度計画の達成状況を確認し、更新計画の策定および従業員への社員教育等を実施する。 							
事業者全体としての目標等								
第一年度 (2017年度)	排出量	3,348	t-CO ₂	削減率	2.3 %	排出原単位	162.10	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	3,278	t-CO ₂	削減率	4.4 %		削減率	3.6 %
目標等の達成状況及び説明	<p>二俣川店では、電気の見える化システムをガス・水道の見える化に拡大。本部・店舗（横浜市内全店舗）で見える化システムのデータを毎日確認して、時間外の各種設備の切り忘れ防止などに活用している。</p> <p>横浜店・二俣川店においてAHUをINV化して49,289kWh（試算ベース）削減</p>							
第二年度 (2018年度)	排出量	2,797	t-CO ₂	削減率	18.4 %	排出原単位	152.20	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	2,699	t-CO ₂	削減率	21.3 %		削減率	9.5 %
目標等の達成状況及び説明	<p>二俣川店では、水温維持のため休館日のボイラ運転を取りやめ、翌日の運転時間を3時間早める運転スケジュールにしたことで全体のエネルギー消費量の削減に寄与した。</p> <p>横浜市の店舗全体で節水対策としてシャワーに新たな節水コマを導入することで温水（都市ガス）の使用量を削減。</p> <p>戸塚店2018年1月末に退店</p>							
第三年度 (2019年度)	排出量	2,709	t-CO ₂	削減率	21.0 %	排出原単位	142.84	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	2,597	t-CO ₂	削減率	24.2 %		削減率	15.0 %
目標等の達成状況及び説明	<p>店舗照明のLED化（横浜・鶴見・二俣川・鴨居）を実施。削減効果は、約177千kWh。鶴見・鴨居の漏水箇所（温水）の早期発見による無駄なガス消費を削減。</p>							
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>計画期間中に戸塚店を閉店したことから全体排出量は目標排出量を大幅に下回る結果となった。真空式小型温水器の稼働時間見直しや見える化システムによる営業時間外の各種設備の切り忘れ防止対策の徹底などの運用による省エネと店舗照明のLED化による設備改修による省エネにより、原単位の目標も大幅に下回る結果となった。</p>							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%		削減率	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)						
3,000k l 以上	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k l 以上 3,000k l 未満	0	0	0	0	0	0	0	0
500k l 以上 1,500k l 未満	0	0	0	0	0	0	0	0
500k l 未満	7	3,428	9	3,348	9	2,797	11	2,709
合計	7	3,428	9	3,348	9	2,797	11	2,709

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)						
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第1号及び第2号該当事業者	1 推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	9/9	—	年度		実施済	9/9	—	年度		実施済	11/11	—	年度			
	2 主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	9/9	—	年度		実施済	9/9	—	年度		実施済	11/11	—	年度			
	3 機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	5/9	—	2019年度	FG24の空調はオーナー資産の備あり	実施中	4/9	—	2019年度		FGは新業態店舗で管理体制が未熟。戸塚店・FG矢向開店	実施済	11/11	—	2019年度		全店完了
	4 照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	5/9	—	2019年度	FG24は24h点灯	実施中	4/9	—	2019年度		FG24は24h点灯	実施済	11/11	—	2019年度		全店完了
	5 エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所が無いため	非該当		—	年度	個別票対象事業所が無いため	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所が無いため		
	6 各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所が無いため	非該当		—	年度	個別票対象事業所が無いため	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所が無いため		
	7 外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所が無いため	非該当		—	年度	個別票対象事業所が無いため	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所が無いため		
	8 フィルター等の清掃	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所が無いため	非該当		—	年度	個別票対象事業所が無いため	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所が無いため		
	9 ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所が無いため	非該当		—	年度	個別票対象事業所が無いため	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所が無いため		
	10 変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所が無いため	非該当		—	年度	個別票対象事業所が無いため	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所が無いため		
	11 室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	9/9	—	年度		実施済	9/9	—	年度		実施済	11/11	—	年度			
	12 地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	該当施設がない為	非該当		—	年度	該当施設がない為	非該当	/	—	年度	該当施設がない為		
	13 照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	5/9	—	2019年度	FG24の4店舗と鶴見はLED化	実施中	6/9	—	2019年度		FG24の5店舗と鶴見はLED化	実施済	11/11	—	2019年度		全店完了
	14 事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	9/9	—	年度		実施済	9/9	—	年度		実施済	11/11	—	年度			
	15 機器性能管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類)	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		
	16 冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類)	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		
	17 燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類)	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		
	18 排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類)	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		
	19 蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類)	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		
	20 工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類)	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		
	21 コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類)	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		
	22 コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類)	—	年度	対象設備がないため	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度					
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)
第3号該当事業者	23 推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			—	年度			/	—	年度			
	24 自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	年度			—	/	年度			
	25 エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	年度			—	/	年度			
	26 エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			—	年度			/	—	年度			
	27 自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			—	年度			/	—	年度			

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		7.93 %		2,709		552.8		338.1		215					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	プールポンプINV	鶴見	2015	プールろ過ポンプの定格運転	昼間買電	203,262	k Wh	104.1	プールろ過ポンプの適正流量調整用（頭落とし）にINV化	昼間買電	182,306	k Wh	93.3	10.7	2,800 千円
2	プール水銀灯LED化	横浜	2015	プール内照明の水銀灯	昼間買電	10,325	k Wh	5.3	プール内照明を水銀灯からLED化	昼間買電	3,098	k Wh	1.6	3.7	306 千円
3	プール空調機INV	鴨居	2016	定速運転空調機	昼間買電	36,196	k Wh	18.5	INVにより可変速	昼間買電	25,880	k Wh	13.3	5.3	900 千円
4	プール水銀灯LED化	鴨居・二俣川	2016	プール内照明8灯の水銀灯	昼間買電	50,400	k Wh	25.8	プール内照明8灯を水銀灯からLED化	昼間買電	15,120	k Wh	7.7	18.1	4,350 千円
5	アトラクションジェットポンプの電源をタッチ式に変更	鴨居・横浜	2016	電源のON・OFFを利用者が操作するため利用者がOFF操作を失念すると無人でも稼働	昼間買電	354,170	k Wh	181.3	タッチ式に変更することで電源のOFF操作を自動化	昼間買電	247,370	k Wh	126.7	54.7	1,450 千円

連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
6	塔屋看板LED化	鴨居	2017	塔屋看板の水銀灯	昼間買電	13,687	kWh	7.0	塔屋看板の水銀灯をLED化	昼間買電	2,245	kWh	1.1	5.9	3,154 千円
7	プール空調機INV	二俣川・横浜	2017	定速運転空調機	昼間買電	151,996	kWh	77.8	INVにより可変速	昼間買電	101,767	kWh	52.1	25.7	2,680 千円
8	店舗照明のLED化 (横浜・鶴見・二俣川・鴨居)	横浜・鶴見・二俣川・鴨居	2019	5,200本のダウンライト・蛍光灯が対象	昼間買電	259,604	kWh	132.9	LED(450□)スクエアライト(LEKR740852NLD9)他を導入	昼間買電	82,516	kWh	42.2	90.7	28,702 千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	発光ダイオードを用いた省エネルギー設備	2019年度	LED(450□)スクエアライト(LEKR740852NLD9)他 5,200本	削減177千kWh
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2019年度	横浜市内事業所	112	東京電力エナジーパートナー・出光昭和シェル
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> ・節水対策として、シャワー吐出時間を調整を行う。 ・ゴミの分別廃棄を徹底する。 ・定期的な全社教育を行い、計画的に削減目標を定める。
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> ・節水対策として、シャワー吐出時間を調整を行う。 ・ゴミの分別廃棄を徹底する。 ・定期的な全社教育を行い、計画的に削減目標を定める。
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・節水対策として、シャワー吐出時間を調整を行う。 ・ゴミの分別廃棄を徹底する。 ・定期的な全社教育を行い、計画的に削減目標を定める。
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・節水対策として、シャワー吐出時間を調整を行う。 ・ゴミの分別廃棄を徹底する。 ・定期的な全社教育を行い、計画的に削減目標を定める。
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・節水対策として、シャワー吐出時間を調整を行う。 ・ゴミの分別廃棄を徹底する。 ・定期的な全社教育を行い、計画的に削減目標を定める。

14 実施状況等に対する自己評価

全店舗LED化が完了し、省エネに寄与できた。
